

松陵

秋田県立能代高等学校
同窓会事務局

〒016-0184 能代市字高崎2-1
能代高校内

TEL 0185-54-2230

FAX 0185-54-2231

題字は元会長神馬恒成氏
印刷所 (株)北羽新報社



同窓会員の皆様へ

同窓会長 森田 新一郎 (40期)

同窓生の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

まずは今年も大活躍した軟式野球部です。3年連続17回目の全国大会に出場し、延長14回のタイブレークの末、まさかの1回戦敗退でしたが、相手が優勝した天理高校であり、よく頑張ったと思います。実は私、今回5連泊し、母校敗戦後も球場通いをしたのですが、そこで奇跡的な偶然に出会いました。準決勝の作新学院と早稲田学院の試合を観戦中、私のすぐ前に座っていた天理高校の監督が「能代の方がすごかったな」とつぶやいたのを聞いたのです。大変嬉しくなりましたし、天理との初戦が事実上の決勝戦ではなかったかと感じた次第です。次に今回の役員改選は、創立

90周年記念事業など大変大きな事業の終了や現役副会長の突然のご逝去もあり、大幅な改選となりました。37期柴田寛彦氏と47期袴田俊英氏が留任、母校の元校長39期山本達行氏と監査の48期泉牧子氏が新任と、7人いた副会長が4人になり、後任の監査には51期中嶋日吉氏という体制になりました。

また、同窓会に設置したグロバル人材育成基金の初めての活用事例が誕生しました。9月にブルガリアで開催された「ARDF世界選手権大会」に無線部の生徒が日本代表として選抜されたからです。基金からは経費の半分を助成しました。

今年3月の入会式は、私の同期の40期が担当し、工藤直樹氏の進行で西方里見氏が激励のあいさつをしました。男

校訓「至誠力行」のこと

校長 菊池 一二三 (45期)



同窓会の皆様には、常日頃から母校を温かく見守り、心強い応援をいただいておりますことに感謝申し上げます。さて、本校の校訓「至誠力行」は卒業生であれば誰もが知っているはずのことですが、実を言うと私が在学しているときには全く意識の中にはありませんでした。はつきり言えば知らなかったのです。何人かの同期生に聞いても同じことを言っておりました。私は樽子山時代には何時の頃からか校訓が意識されなくなり、校舎移転を期にまたその意識が戻ったのではないかと予想しているのですが、その辺の事情を知っている方がおいでであれば教えていただきたいと思っています。

その校訓について九十年を期に改めて資料を調べたところ、初代校長武藤健三郎先生の思いを改めて確認することができたのでした。校訓を説明するときには、武藤先生の「至誠にして動かざるものはなく鬼神をも感動せしむるは至誠である。」という言葉がよく引用されますが、先生はこの言葉の前に「至誠」に示された事一見平凡であるかも知れぬがそれでよい、偉い人とか清い明い人とかいふのも平凡を積んで実行した人以外ならぬ。現代は平凡な事を確実に一歩一歩実行し得る人を要求している」と述べているのです。「偉い人、清い明い人は平凡を積んで実行した人」と言っています。ここで言う「平凡」とは何でしょうか。私は「当たり前前のこと」と解釈します。ですから、「平凡を積む」とは「当たり前前のこと」を行うこと、人間として正しいことを行うこと」ということになりました。本当に単純なことかも知れませんが、これこそ、我々が生きていく上で心掛けなければならぬ基本事項なのではないかと私は思うのです。先生はこの校訓を「一生の燈台となり北斗星となり得ると信ずる」と言っており、改めてこの校訓が教えていることに思いを巡らせて、自らの人間形成に努め励まなければならぬと思いつたのでした。

平成29年

能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

◎日時 平成29年1月21日(土)

講演会 午後4時

懇親会 午後5時

◎会場

プラザ都(能代市柳町)

電話(0185)54-2244

◎会費 4,000円(当日持参)

※当番幹事は46期・56期です。

参加申し込みは同窓会事務局または各期幹事へ連絡してください。

同窓会事務局(能代高校内)

電話(0185)54-2230

FAX(0185)54-2231

恩師の近況

平成元年から同窓会報「松陵」を発行し、平成13年「松陵」がA4判になった時から「恩師探訪」がはじまった。本紙の人氣コーナーである。東京同窓会の「松陵健児」にも同様のコーナーがあり、執筆依頼した恩師から「東京に書いたから遠慮する」と言われた事もあった。現在では両紙ともインターネットでバックナンバーを読むことが出来る。能代高校旧職員の集まりである「巨濤会」の様子と併せて紹介したい。

事務局広報担当 小林勝平（33期）

〈恩師探訪などの執筆者〉

トップバッターは平成13年の長岡幸作先生、翌年は納谷喜代松先生、15年は金谷晴隆先生、16年大高芳雄先生、17年高橋彰三郎先生、18年大山行夫先生、19年須田薫先生、20年小玉徳征先生、21年安嶋彬先生、22年統隆先生、23年佐沢清誠先生、25年岡卓夫先生、26年藤本真子先生、27年高橋宏先生と続いた。今年は誰にお願いしようかと考えたが、これまで筆者選定のために助言をいただいていた統先生、金谷先生が昨年、今年と2人ともお亡くなりになった。そこで来年以降執筆していただきたい恩師名を事務局に連絡していただければありがたい。

東京同窓会の「恩師に聞く」に登場したのは、手元の資料では19年谷内成治先生、20年安井信雄先生、21年仙葉清志先生、22年藤原六郎先生、23年藤田昭基、平川金之助、小玉幸徳、渡

夫先生、24年金谷晴隆先生、25年岡卓夫先生、26年納谷喜代松先生、27年中村榮喜先生、28年高橋一成先生である。

〈巨濤会のこと〉

能代高校に勤務したことのある教職員で、退職した人たちが「巨濤会」という会を作り年1回集まって親睦を深めている。平成5年に始まった会で、途中中断した時期もあったが、今年9月で19回を数えた。現在190名が名簿に掲載されている。軟式野球全国大会には50名以上が寄付金を振り込んでい

部嵩、小林勝平。中段左から岡卓夫、越後美緒子、児玉悦子、加賀谷恭一、谷内成治、神馬洋、小熊昇一、佐々木正一。上段左から小玉孝一、半田俊毅、工藤修、高橋敏章、矢部文康、柴田和郎の各氏が集い、近況を語り合った。欠席した人からも近況が寄せられている。

なお、10月1日に挙行された花輪高校創立九十周年記念式典では、本校元校長井上高廣氏が実行委員長、校長は京久夫氏（47期）、参列者では清野宏隆氏（29期）、小玉孝一氏、武田幹夫氏（38期）、佐藤博氏などの本校旧職員と出会った。



同窓生から

能代の喜寿を祝う

同期会に参加して

下間 弘道（29期）

去る9月10日、柳町の「プラザ都」にて「第29期喜寿の祝い・同期会」が催されました。

参加者は25名と割に少数でしたが、幹事の気配りと在能の皆さんの温かなもてなしで大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。応援歌を全て声高らかに歌った後、「おなごりフェスティバル」（昨年は天空の不夜城を観覧）会場に案内されました。既に多くの観客で賑わう中、東北各地の華やかな祭りを郷里能代で堪能することができました。「おなごり」という言葉と「フェスティバル」がどうもしっくりしないと感じていたのですが、フェスティバル最後の火花を見て、これで夏も終わるのかと実感し「おなごり」の意味が少し理解出来たような気がしました。

フェスティバルの会場に向かう道中、幹事役の斎藤憲身君が建て替え中の市役所の前を通ってくれました。暗くて詳細は不明でしたが、急に市政何年（？）

記念の提灯行列をした事を思い出しました。

翌日は、ゴルフをした連中もいたようですが、私は墓参りと八森に行き何十年振りにさざえの壺焼きを食べ（学生時代に自転車で旅をし、八森の漁師の家で、ごちそうになった事がある）、ハタハタ館で、日本海越しに男鹿半島を眺めながら露天風呂でのんびりと命の洗濯をしました。

会では各々が一言ずつしゃべりました。白坂医師の「我々の平均余命は12年」という言葉は、発言者のせいもあってか、ヤケに胸に響き、「タッタ12年か」とも「12年もあるのか」とも考えさせられました。



私が帰能すると姪が必ず「鯨の味噌力ヤキ」を作ってくれます。いつも味噌が足りない、血圧に良くないと議論が始まりますが、これを食べると能代に帰った気分になります。不思議な食べ物です。

今回の能代のみやげは「茗荷」です。大量に買い込み持ち帰り、味噌漬けを作り、残りを冷凍と甘酢づけにして保存しました。どなたか、この特産品の美味しい食べ方や有効な保存方法を教えて欲しいものです。

同窓会広報担当の小林さんから速達で原稿の依頼を受け雑文を綴ってしまいました。

それにつけても、ふるさととは良いものです。そんな場所で過ごせた高校時代は、私にとって貴重な時間です。改めてしみじみと感じております。

参勤交代の故郷で

川添 能夫 (35期)

この春から実家の姉の見守りもあり、能代市とさいたま市で半月毎の参勤交代となった。故郷は食も自然も人も暖かい。

五年前メーカーを退職し公民館での文化・スポーツクラブ、日本笑い学会入会、文学館ガイドや高校生への海外体験講演で活動。これが性に合い、大いに楽しんだ。



市民おもしろ塾を立ち上げた仲間達

少し物足りなくなり明大修士課程で「老年力の可能性」を研究。シニアのボランティアや生涯学習が日本で低調なことを発見。「プラチナ・ギルドの会」に入会しシニアを「ちょこボラ」(気軽ボランティア)に導く研修担当になる。東京都と組んでシニアの研修とNPOとの見合いイベントを苦勞と楽しみの中で推進した。

そのうちに郷里の幼馴染同期生との懇談から「市民目線の塾」への構想が共感となり、黒澤明の映画「生きる」ではないが、生きているうちに郷里に少し貢献しておこう、多少足腰が痛くても挑戦してみつくと「市民おもしろ塾」が発足した。地元

市民が前に出て、県外の愛郷者が応援する図式もできた。そして講座にとどまらず市民の交わりを強める企画の後押しもと夢はけっこう大きい。

塾の関連でPRや講師依頼に歩くも能代で気付くことがある。人口減への嘆息、老年の孤立化、町内の絆の薄さ、シニアとITの疎遠、シニアと若者の懸隔、活動家に多くの役割の集中し過ぎ(政府の地域包括ケア推進策「共助で守る地域」とは様相が異なり、更に厳しくなる懸念もある)。

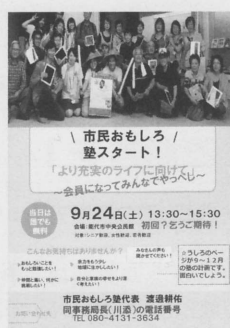
一方、変化の火付け役は「若者・ばか者・よそ者」というが、これも確かにあるのがうれしい。NPOの若者、心の若いシニア若者、NPOでの新たな実験、よそ者男女の遠慮のない挑戦。上町の女性中心の町興しは、全町内の優れたモデル、見習いたい。

能高は能代の知の殿堂。能高OBは、実社会も経験済みの郷土のフロント。余力あるOB達が三人寄れば街で何かができる。横串、縦串、斜め串のユニットを作り皆で少し動きませんか。手始めに「市民おもしろ塾」へどうぞ！

講師候補の自薦他薦も大歓迎です。
(電話番号080-4131-3634)

『市民おもしろ塾』 始まる！

渡邊 耕 佑 (35期)



定年退職して早や十年。昨年私達は「古希」を祝った。会合のたびに話題となったのが「能代で何かやらないか！」である。

平成28年に入り、一〜三月に具体的な動きが始まった。志を持つ7人の仲間が集い、五月に一回目の「運営委員会」を立ち上げた。六月の二回目には、会則も整備して『市民おもしろ塾』の立派な設立総会となった。

『塾』の狙いは、①ジャンルにとらわれずに幅広い分野の研修・講座を市民に提供する
②地元や全国で活躍する能代出身の人を講師に発掘して発表の場を設定する③とにかく能代で「おもしろく、生き生きと生活していく」の3点である。

研修の柱立てには、①健康・医療・介護②能代の歴史③能代山本のユニーク団体紹介④文化・教養・おもしろ授業⑤死生学・生き方学⑥郷土職業人の体験談⑦地域振興・掘り起こしの技⑧私の一芸、等々枚挙に暇のない構想である。今は来年の一〜三月の六回分を積み上げている。

現在、正会員と賛助会員を合わせると百名の太台に乗っている。又、『能代市市民まちづくり活動支援事業』に応募し、2回のヒアリングを経て、十月からの補助金が確定した。財政的な面でも大幅な充実になる。

70歳〜80歳の十年間はまだまだ現役。後継者育成も視野に入れながら活動を継続する。同窓生各位のご支援をよろしく。



9月24日(土)「心の健康、いやしの音楽」
講師 納谷 晋一氏

同窓会総会報告

27年度の同窓会総会

昨年は創立九十周年行事があったため、同窓会総会は今年1月23日(土)に総会と新年祝賀会を同時に開催した。出席者は93名。会の内容は「能代高校同窓会ホームページ」で紹介している。「能代高校同窓会」で検索してほしい。ホームページ左側の目次の4番目「総会・新年祝賀会」をクリックすれば30数枚の写真で総会・祝賀会の様子がわかる。

昨年度は当番幹事が校長先生と同期の45期とあつて20名出席、十年下の55期の幹事も14名出席と同窓会としては近年にない若返りで盛況だった。

28年度の同窓会総会

今年の総会は9月24日(土)午後4時からプラザ都で、48名が参加して行われた。

総会の進行は当番幹事原田保氏(46期)が担当、最初に、今年2月3日、現職副会長でお亡くなりになった山田孝行氏(32期)をはじめ前回総会以降にお亡くなりになった方々へ1分間の黙祷を行った。

議事は恒例により森田同窓会長を議長として、会務報告、決算・予算審議が行われ原案通り承認された。グローバル人材育成基金会計報告については、会計上は8月31日現在なので支出ゼロだが、9

月にブルガリアで開催されたARDF世界大会の経費の半額を助成するので、「約40万円が来年度の支出に計上される」と補足説明があった。

役員改選では33期、46期、56期から選考委員を出して相談、退任する浅田嘉美氏(17期)、畠山良子氏(30期)、佐藤浩嗣氏(30期)、飯坂誠悦氏(35期)の4名の後を受け、新副会長に山本達行氏(39期)、泉牧子氏(48期)、監査に中嶋日吉氏(51期)が承認された。

退任者あいさつ

副会長を退任する畠山良子氏は「大変勉強になった16年間でした。全国あるいは海外で活躍して



いる皆さんから沢山の英気をもらった気がします」と話しておられた。そのあと新役員を代表して森田会長があいさつ。森田会長は、総会冒頭、新役員代表、懇親会と3度もあいさつをしたが、その内容は本紙1面や4面下の囲み記事と重複するので省略する。また、総会の最後に行われた「ARDF世界大会参加報告」は、顧問の鈴木道生先生がスライドを使って説明した。その内容は5ページに紹介する。

懇親会

世界大会参加報告が午後5時20分に終了したので、懇親会は5時半に校歌斉唱で始まった。懇親会から参加する会員も多いので同窓会長が3度目のあいさつをした。

菊池校長は学校の状況説明ということで、秋季全県高校野球大会での本校の活躍振りを紹介し、体操部や無線部、文芸部など他の部活動について

同窓会役員(28・29年度)

顧問	佐々木 満(15期)
会長	田中 純(25期)
副会長	森田 新一郎(40期)
監査	塚本 恵子(42期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	柴田 寛彦(37期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)

会長	田中 純(25期)
副会長	森田 新一郎(40期)
監査	塚本 恵子(42期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	柴田 寛彦(37期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)
総務部	山本 達行(39期)
財務部	山本 達行(39期)
広報部	山本 達行(39期)
校務部	山本 達行(39期)
事務局	山本 達行(39期)

会費納入にご協力を！

(同窓会長 森田新一郎)

皆様には毎年会費納入にご協力をいただきありがとうございます。

納入いただきました会費総額のこれまでの状況を見てみますと、平成20年度が213万円、22年度が200万円、24年度が190万円、25年度が182万円、26年度が165万円、そして27年度における会費総額が173万円(会費振込手数料を差し引いた額)となっており、27年度は創立90周年ということで新しく会費を納入された方が増えたことから前年度を少し上回っていますが、基調としては年々減少しているという状況が続いています。まさに危機的な状況であり、今後に大きな不安を感じています。

皆様方からの会費はその半分以上の100万円を能代高校教育振興会に寄付し黒松の剪定や施設整備補修に活用されているほか、残りは「松陵」の発行費用の一部に充てております。

「松陵」については、伝統的に会費を納入していたいていない方々も含めて約14,000部発行してまいりましたが、今のままではこの伝統を守れない現状にあります。

今年度の「松陵」は今までどおり約14,000部を発行しますが、来年の「松陵」については、納めていただく会費総額がこれまでと同じような傾向であれば、例えば同窓会入会後20年未満の方々とか、会費を納めていただいた方々とか、募金に協力してくれた方々とか、総会や新年会に出席された方々とか、役員会において、発行部数を制限する内容などについて検討してまいりたいと考えております。

経済情勢が大変厳しい折り大変恐縮に思いますが、皆様方のご支援、ご協力についてよろしくお願いいたしますとともに、ご理解のほどをお願い申し上げます。

同窓会会計報告

平成27年度分（平成27年9月1日から平成28年8月31日まで）

I. 経常費

収入の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	402,638	402,638	0	
2 入会金	1,670,400	1,670,400	0	7,200円×232名
3 会費	1,700,000	1,838,000	138,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	462	376,245	375,783	預金利息、雑収入(記念誌、CD、名簿等)
合計	4,773,500	5,287,283	513,783	

支出の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減	摘要
1 会議費	300,000	97,172	△ 202,828	総会等補助、各支部出席費用
2 慶弔費	10,000	1,590	△ 8,410	弔電
3 卒業関係費	100,000	95,137	△ 4,863	入会記念品
4 通信印刷費	1,900,000	2,097,848	197,848	会報印刷・発送費、はがき、新聞広告
5 事務費	50,000	228,311	178,311	会費振込手数料、事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	30,000	22,032	△ 7,968	インターネット利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	
9 予備費	383,500	0	△ 383,500	
合計	4,773,500	4,542,090	△ 231,410	

《差引残高》 収入 支出 次年度への繰越金
 5,287,283 - 4,542,090 = 745,193

II. 基金

種類	平成27年度決算	平成26年度決算	摘要
1 秋田銀行積立	31,670,994	31,664,272	利息6,722円
2 秋田銀行定期	892,269	892,080	利息 189円
3 秋田銀行定期	1,006,973	1,006,759	利息 214円
4 秋田銀行普通	1,845,375	2,960,473	貸付金の返却40万円、利息138円、90周年記念事業へ100万円、軟式野球団体派遣費補助515,236円
合計	35,415,611	36,523,584	

III. 貸付金

1. 平成20年4月7日 5,880,000円 をエアコン設置代として貸し付ける
 (2～9は省略)
 10. 平成28年8月31日現在の貸付残高 280,000円

平成28年度分 同窓会経常費予算

(1) 収入

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較増減	摘要
1 繰越金	745,193	402,638	342,555	
2 入会金	1,684,800	1,670,400	14,400	7,200円×234名
3 会費	1,700,000	1,700,000	0	2,000円×850名
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	7	462	△ 455	預金利息など
合計	5,130,000	4,773,500	356,500	

(2) 支出

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較増減	摘要
1 会議費	300,000	300,000	0	総会等補助、各支部出席費用
2 慶弔費	10,000	10,000	0	電報等
3 卒業関係費	100,000	100,000	0	入会記念品
4 通信印刷費	2,100,000	1,900,000	200,000	会報印刷・発送費、はがき、新聞広告
5 事務費	50,000	50,000	0	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	30,000	30,000	0	インターネット利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)への繰り戻し
9 会費振込手数料	110,500	0	110,500	130円×850
10 予備費	429,500	383,500	46,000	
合計	5,130,000	4,773,500	356,500	

平成27年度グローバル人材育成基金会計

平成28年8月31日現在

収入の部

項目	27年度決算額	摘要
繰越金	1,258,962	
寄付金	616,000	
雑収入	155	預金利息
合計	1,875,117	

支出の部

項目	27年度決算額	摘要
事業費	0	
合計	0	

収入総額 支出総額 残高
 1,875,117 - 0 = 1,875,117 (次年度繰越金)

雲羊羹は、今年1月の27年度総会から復活した。今回は30期、31期、32期、33期の4名がプラザ都社長大谷直子さん(37期)と



33期4名とプラザ都社長大谷直子さん(37期)

恒例の東雲羊羹

も紹介した。田中仁純同窓会顧問(25期)による乾杯の発声で宴会に入った。

ARDF世界大会報告を聞いて

総会の最後には「ARDF世界大会参加報告」を無線部顧問の鈴木道生教諭が行った。液晶プロジェクタを使って現在の無線部の部員数、主な参加大会、アマチュア無線探査(ARDF)競技とはどんな競技かなどをわかりやすく説明。

「日本代表」の選考については「全日本大会で上位の成績を残した者を次年度に開催される国際大会の日本代表とする」という規定があり、西暦偶数年に世界大会、奇数年にアジア・オセアニア大会が開催されるのだそう。今回の世界大会に出場した鷲谷菜々子選手は、昨年の全日本ARDF競技大会で、3.5MHz帯で優勝、144MHz帯で2位となり選考順位1位で代表に選抜された。

9月3日～9日にブルガリア共和国ドブリチ州アルペナで行われた大会には35か国、409名が参加。日本から24名、うち高校生が5名参加した。



最初にフォックスオリングという競技が行われた。送信機の出力が低く、30m程度まで近づかなければ受信不能、更に地図を読む力がなければゴールさえ危うい状態のところを、鷲谷さんは探査個数6個中5個、所要時間74分42秒で到着。20名完走して19位。実はこの競技には初挑戦だったのだそう。無事にゴールして記録を残し、翌日以降に繋がる結果となった。

翌日以降の競技では、他国選手が自動式受信機を使う中で、手動式の受信機を使いながらも全探査でゴール。現地テレビ局のニュース映像に競技中の鷲谷選手が映るなどの出来事があったそう。

(以下略 事務局広報担当 小林勝平)

在校生の活躍

全国高校将棋選手権大会 出場報告

囲碁将棋部顧問 佐藤 寿志

囲碁将棋部は、8月2日と3日に広島県福山市で開催された全国高校将棋選手権大会女子団体の部に出場しました。

今回は2年連続の出場となり、メンバー3人全員が3年生ということもあって「去年の成績を上回ろう」、「最後の大会で有終の美を飾ろう」との意気込みで大会に臨みました。しかし、残念ながら結果は昨年と同じく予選リーグ1



勝3敗。上位進出はかきませんでしたが、1勝を挙げた相手校は、昨年の大会で敗れていた学校だったので、雪辱を果たすことができたと思っています。生徒たちも最終戦を勝利で終えることができ、みな晴れやかな表情でした。

本校の女子部員は3人とも高校に入学してから本格的に競技を始めたこともあり、力不足は否めませんが、全国大会や東北大会に複数回出場することができました。そのことが彼女たちの高校時代のよき思い出となり、自信にもつながっているものと思います。

体操部インターハイ・ 国体出場報告

体操部顧問 大塚 孝幸
(57期)

本校体操部は6年連続でインターハイに出場することができました。今年は8月3日から島根県浜田市にある島根県立体育館での開催でした。30年程前、私自身が高校3年生の時に出場したインターハイと同会場で、懐かしさを感じました。

今年も、リオオリンピック金メダリストの内村航平選手が所属するコナミ体操クラブで出発直前に強化合宿を行い、ベスト16を目標に大会へ臨みました。結果は団体戦29位と、目標にしていた予選突



破を果たすことができませんでした。しかし、選手たちがお互いに声を掛け合い、チーム全体が活気に満ち溢れた試合をすることができました。

また、10月2日から岩手県盛岡市で行われた国民体育大会に、秋田県代表として本校から3年生2名、2年生2名、1年生1名の計5名が出場しました。3年生にとつては最後の試合というところもあり、いつも以上に気合いが入っていました。種目によっては多少のミスがあつたものの、選手たちは満足のいく演技で終えることができました。

今後、能代の体操が全国の舞台で活躍出来るよう頑張っていきたいと思えます。

全国軟式野球選手権大会 出場報告

軟式野球部顧問

平田 有宏

8月末に兵庫県明石市・姫路市で行われた全国選手権大会に3年連続で出場しました。

昨年の全国準優勝を超えるという目標を掲げて臨んだ今大会でしたが、結果は1回戦で、本大会の優勝校となった、近畿・奈良県代表の天理高校と延長14回タイブレークの末敗退となりました。秋田では経験できない猛暑という慣れない環境でもありました。が、選手は最後まであきらめることなく、粘り強く戦ってくれました。

最後に、多方面から多大なるご協力ご支援をいただきました。



全国高校総合文化祭

新聞部門

新聞部顧問 山崎 静

したことにつきまして、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

朝からジージョーと蝉時雨が降り注ぐ。あの夏もこうだったのだからかと空を見上げた。平和公園内ではテントが張られ式典の準備が進められていた。資料館見学は、部員のもう一つの目的であった。今年の全国高総文祭は広島市で8月1日～3日まで開催され、全国119校が広島女子学院大学に参集した。交流新聞作成が活動の中心となる。事前に振り分けられた各コース別に、宇佐美君は「呉」の歴史と戦艦「大和」、吉岡君は動く博物館「路面電車」、私は「マツダ」の歴史をテーマに取材へと出かけた。取材から帰ると即班別編集会議、翌日の正午には手書きの新聞を完成させる。限られた時間の中でどの班も必死にペンを走らせ、スマホを駆使し、締





無線部顧問 鈴木 道生

7月23、25日に新潟県で開催された第13回全国高等学校ARDF競技大会には、工藤理彩・鷺谷菜々子・中川ちさと・淡路響生・石川真由・佐藤美那子が出場しました。新設されたスプリント競技では不慣れで苦戦したものの、学校対抗の第3位をはじめ

平成28年度大会参加報告

め切りギリギリまで妥協しない姿勢が印象的であった。初対面でこのような共同作業をやり遂げる高校生の力に大きな可能性を感じた。

9月発行の「校友時報」では、広島に焦点を当てて紙面を組んだ。能高生に自分の見た島を伝えたいとの使命感から制作した部員の熱意を嬉しく思っている。

短歌甲子園に出場して

文芸部顧問 浅野 聡 (52期)

全国高等学校短歌大会（通称短歌甲子園）は、8月17日から19日にかけて盛岡市で行われた。本校からは3年佐藤瑞穂、2年小玉莉子、1年村上楓佳の3名が出場した。初日の題詠ツア1において「天然」「偶然」の二題を与えられ、それぞれ2首詠み、二日目の予選に臨んだ

め個人でも中川が2位、工藤が3位と上位入賞を果たした。144MHz帯競技では女子個人で佐藤が優勝し、工藤が2位となりました。能代高校勢として4年ぶりの優勝、女子選手が全員入賞など、喜ばしい結果となりました。

9月3、9日にブルガリアで開催された第18回ARDF世界選手権大会には、鷺谷菜々子が出場しました。5日間、4種目を行うタイトな日程の中、アジア勢では唯一全種目完走を果たしたものの、上位選手との記録の差に、世界の壁の厚さを実感する結果でした。競技以外では異文化に触れ、他国の出場選手と交流するなど貴重な経験をしてくるなどが出来ました。

同窓会の皆様には今年度も多くのご支援をいただき、ありがとうございました。来年度に向けて今後も練習に励んでいきたいと考えております。

平成28年3月卒業生 進路状況一覧			
生徒数		男	女
		123	109
大学	国公立	43	39
	私立	49	49
短大	国公立	1	1
	私立	1	1
専修・各種学校		5	13
就職		16	2
その他		8	4
計		232	

が、3校によるリーグ戦に敗れ、予選敗退となった。

しかし、敗者復活戦（敗退チームによる一句選出）を経て3日目の決勝トーナメントに進出した。一試合ごとに自信をつけた部員たちは、準々決勝で予選で敗れた盛岡一高戦に見事リベンジを果たした。準決勝に敗れたため3位止まりだったが、本校にとっては初めての入賞であった。

3年佐藤は昨年度東洋大学の現代百人一首に選ばれるほどの実力を備えていたが、他の2名は短歌に取り組みようになってからの日が浅く、いわゆる「心余りて詞たらず」の状態だった。それを補うべく、審査員の前で應ずることなく自分の思いのたけを精一杯語っていた。その熱い気持ちが観客にも充分伝わり、好評価を得た。次の目標は、優勝になるが、そのためには、やはり「詞」のレベルアップなくしてはありえない。

平成28年度 部活動大会結果

野球及び各部東北大会以上

〈体育局〉

全国大会（全国高等学校総合体育大会）

体操部 男子団体総合 29位
メンバー 渡邊晴喜・嶋田大輝・伊藤裕大・渡辺一輝・高野太一・工藤 海
男子個人 渡邊晴喜・嶋田大輝・伊藤裕大・渡辺一輝・相馬真広・成田 研
※団体・個人とも予選落ち
女子体操 女子個人 佐藤杏奈 予選落ち

東北大会
体操部 第45回東北高等学校体操競技選手権大会
男子団体 3位
メンバー 渡邊晴喜・嶋田大輝・伊藤裕大・渡辺一輝・高野太一・工藤 海
個人出場 渡邊晴喜・嶋田大輝・伊藤裕大・渡辺一輝・相馬真広・成田 研
個人総合 6位 渡邊晴喜
種目別 ゆか4位 伊藤裕大 あん馬8位 渡邊晴喜
つり輪3位 渡邊晴喜 5位 嶋田大輝
平行棒9位 渡邊晴喜 鉄棒8位 嶋田大輝

第42回東北総合体育大会 体操競技大会
少年男子 秋田県3位 渡邊晴喜・高野太一・嶋田大輝・伊藤裕大・渡辺一輝
男子個人総合 4位 嶋田大輝 5位 渡邊晴喜
ゆか8位 嶋田大輝 9位 伊藤裕大
種目別 あん馬2位 嶋田大輝 つり輪4位 渡邊晴喜
跳馬3位 渡邊晴喜 9位 嶋田大輝
平行棒6位 嶋田大輝 鉄棒4位 嶋田大輝

女子体操 第45回東北高等学校体操競技選手権大会
第42回東北総合体育大会 体操競技大会
女子個人 佐藤杏奈 出場
柔道部 第66回東北高等学校柔道大会 男子個人 100kg級 1回戦敗退 高橋怜夢

陸上競技部 第71回東北高等学校陸上競技大会
女子100m 安保 凜 準決勝3組5位 200m 安保 凜 準決勝1組6位
男子5000m競歩 小武海泰士 6位

第21回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
男子5000m競歩 小武海泰士 1位 男子走幅跳 石塚一輝 20位
男子三段跳 石塚一輝 12位 女子5000m競歩 伊藤咲良 16位

剣道部 第48回東北高等学校女子剣道選手権大会
女子個人 2回戦敗退 成田千佳・川井絵里奈
水泳部 東北総体全国大会予選 男子200m平泳ぎ 今泉宏優 予選落ち

軟式野球部
春季全県大会
1回戦 10-0 秋田工業 準決勝 0-1 秋田商業

全国高等学校軟式野球選手権大会秋田県大会

1回戦 11-0 能代工業 準決勝 5-2 本荘

全国高等学校軟式野球選手権大会北東北大会

準決勝 10-0 五所川原第一 決勝 3-0 秋田工業（優勝）

全国高等学校軟式野球選手権大会

1回戦 2-3 天理（近畿）奈良

秋季全県大会 準決勝 7-0 秋田商業 決勝 0-2 秋田工業（準優勝）

硬式野球部

春季東北大会 準決勝 3-2 大館鳳鳴

2回戦 5-1 能代西 決勝 2-3 能代松陽（準優勝）

春季全県大会 2回戦 8-4 秋田西 3回戦 7-1 横手

準決勝 5-4 秋田中央 決勝 13-9 明桜（優勝）

春季東北地区高等学校野球大会（ブルガリア） 1回戦 1-3 聖光学院（福島）

全国高等学校野球選手権秋田大会

2回戦 6-3 湯沢 3回戦 5-12 秋田商業

秋季東北大会

2回戦 3-1 大館桂桜 準決勝 5-9 能代松陽

代表決定戦 1-9 能代工業 2-0 大館国際

秋季全県大会 2回戦 5-3 横手清陵 3回戦 3-11 秋田商業

〈文化局〉

全国大会 無線部 第13回全国高等学校ARDF競技大会

144MHz部門 学校対抗 第5位 工藤理彩 4位 中川ちさと

女子個人 1位 佐藤美那子 2位 石川真由

5位 鷺谷菜々子 6位 中川ちさと

スプリント部門 学校対抗 第3位 工藤理彩 5位 佐藤美那子 6位 鷺谷菜々子

女子個人 2位 中川ちさと 3位 工藤理彩 5位 佐藤美那子 6位 鷺谷菜々子

1ARDF世界選手権大会（ブルガリア）出場 鷺谷菜々子

2016全日本ARDF競技大会

144MHz部門 W19クラス 2位 信太藍瑠 4位 清水優花

スプリント競技 W19クラス 3位 佐藤美那子 4位 石川真由

囲碁将棋部 全国高等学校将棋選手権大会 出場

メンバー 石崎理彩・高杉歩・後藤美優

女子団体 予選リーグ1勝3敗

新聞部 全国高等学校総合文化祭 出場 宇佐美拓真・吉岡輝紀

文芸部 全国高校生短歌大会 第3位 佐藤瑞穂・小玉莉子・村上楓佳

東北大会

弁論部 第21回ディベート甲子園東北地区予選 1勝3敗

メンバー 三國ちひろ・松橋 西・村上 遼・小玉周平・寺田彩希・山下菜々子



東京同窓会から 笑顔と感激が溢れた 能代高校

東京同窓会2016

東京同窓会幹事長

野村 一哉 (47期)

平成28年度能代高校東京同窓会が10月1日(土)12時20分より東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で、初参加者18名を含む約100名の会員のほか、菊池校長先生、森田同窓会長、恩師の方々及び近隣高校首都圏同窓会関係の来賓の方々を含め約120名の方が出席下さり開催されました。総会では平成28年度活動報告・収支決算報告・監査報告、平成29年度活動方針案・予算案が審議され、いずれも可決承認されました。森田同窓会長の祝辞のなかでは、軟式野球部の選手権大会応援時に一回戦惜敗した相手で優勝した天理高校監督と準決勝観戦時に偶然近くにいらした際、「能代のほうが強かったな」とつぶやいたことを聞かれた貴重なエピソードを紹介いただきました。



本年度の講演会は、43期生でジャズピアノリスト/作曲家の納谷嘉彦さんによる「サムライJAZZを語る」と題したトークライブがベースの依山昌之さんとともに行われました。まずは「津軽海峡冬景色」のJazzバージョンでJazzに馴染みのない方々の心も一瞬でつかんでしまいました。また能代で子どもの頃に遊んだ縄とび歌「大山の白うさぎ」をテーマにした曲「しろうさぎ」、故郷能代を思っ作った「My Home Town」など、約30分のライブを堪能いたしました。懇親会では、菊池校長先生から、在校生の幅広い活躍の様子を紹介されました。同窓生の我々も改めて頑張っていると思う素晴らしいエピソードばかりでした。



ソールドばかりでした。秋田から恩師の国語科の高橋一成先生が出席され、都内在住の理科の小西(北川)和子先生ともども、在校時に習った先生方にお会いして、当時生徒会長だった菊池校長先生のお話を聞いていると、懐かしさもひとしおでした。また、ここ数年恒例となっている有志「松陵クワイヤ」によるゴスペルが披露され、「秋田音頭能代高校バージョン」では大いに盛り上がりました。壇上では初参加者全員の紹介もあり、参加して感激したという感想が多く披露されておりました。最後は応援歌「遠征歌」と校歌を斉唱し来年の再会を誓い合い感動とともに幕を閉じました。

秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧

同窓会本部のEメールアドレス
noshirohs-dousou@shirakami.or.jp

2016/10/31現在

	名 称	郵便番号	所在地(事務局住所または会長宅)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期
本部	能代高校同窓会	016-0184	秋田県能代市字高橋2-1 秋田県立能代高等学校内 http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	森 田 新一郎	40
	東京同窓会	157-0076	東京都世田谷区岡本1-33-12 ビュー加賀見305号 (㈱トップラインズファクセス内) http://shoryokenji.web.fc2.com	能高東京同窓会事務局	03-6411-7955 fax03-6411-7945	石 井 喬	46
支部	秋 田 支 部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 農協ビル6階 柴田・加賀法律事務所内	加賀 勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加 賀 勝 己	30
	県 庁 能 高 会	010-8572	秋田市山王3丁目1-1 秋田県観光戦略課	県庁能高会事務局 佐藤 徹(51期)	018-860-1462 fax018-860-3868	平 川 祐 作	48
	北 海 道 支 部	060-0062	札幌市中央区南2条西7丁目5-6 (株)雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉(58期)	011-272-3540 fax011-272-3550	佐 藤 毅	50
	近 畿 支 部	655-0002	兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長	078-794-0998 fax 電話と同じ	平 川 長	29
	青 森 支 部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田 和夫	017-742-5325 fax017-744-6150	原 田 和 夫	26
	鷹 巣 阿 仁 支 部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中 三夫(27期)	0186-62-2731 fax0186-62-2757		
	二 ツ 井 支 部	018-3104	能代市二ツ井町字沢口82-40	事務局 小林 勝幸(47期)	0185-73-3935 fax 電話と同じ	丸 岡 一 直	40
	藤 里 町 松 陵 会	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田 洋三	0185-79-1801	石 田 洋 三	27
	松 陵 津 軽 会	038-2206	青森県西津軽郡深浦町大字松神字下浜松1-1	田口 彰	0173-77-2322 fax0173-77-2676	田 口 彰	35